

午後Ⅱ試験

問 1（アジャイル型開発に関するシステム監査について）は、設問アでは、アジャイル型開発の内容について論述していない解答や、情報システムの内容の論述にとどまっている解答が多かった。設問イでは、設問アで述べた情報システムの開発にアジャイル型開発手法を採用するに当たってのリスクとコントロールを求めているが、一般的な内容で具体性のない論述や、リスクだけでコントロールが記述されていない解答が散見された。設問ウでは、体制、スキル、開発環境などの整備状況を開発着手前に確認する監査手続を求めているが、運用段階での監査手続を論述している解答が目立った。また、監査手続ではなく、監査結果を論述している解答も多かった。解答に当たっては、問題文と設問をよく読み、題意を踏まえて論述してほしい。

問 2（リスク評価の結果を利用したシステム監査計画の策定について）は、設問アでは、受験者が関係する組織が保有する情報システムの概要を論述することを求めたが、特定の情報システムについての論述が目立った。設問イでは、監査部門がリスク評価を行うことを前提としているにもかかわらず、リスク評価の手順がほとんど論述されず、リスク評価の結果だけを論述しているものが多かった。設問ウの監査部門以外のリスク評価結果を用いる場合の利点及び問題点については、よく理解した論述が多かった。しかし、問題点に対する事前措置については、監査部門が結果を確認するなどの抽象的な内容が多かった。